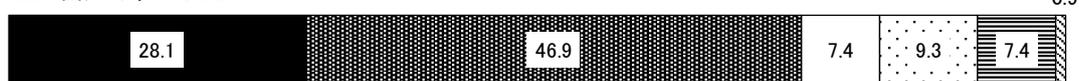


### 3 結婚や家庭生活などに関する考え方について

【問10】 あなたは結婚についてどう思いますか。あなたの考えをお聞きます。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

■ そう思う   ■ やや思う   □ やや思わない   □ そう思わない   ■ わからない   ■ 未回答

a. 結婚することは自然で幸せである



b. 経済的に結婚した方が安定した生活ができる



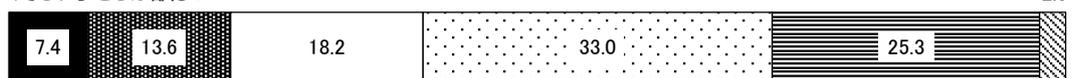
c. 結婚は個人の自由であるから、してもなくてもどちらでもよい



d. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



e. 結婚しなくても、子どもは欲しい



f. 結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい



g. 子どもを育てるのが大変だ



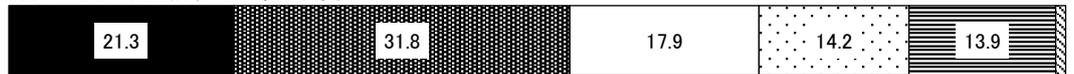
h. 子どもを育てるのが楽しみだ



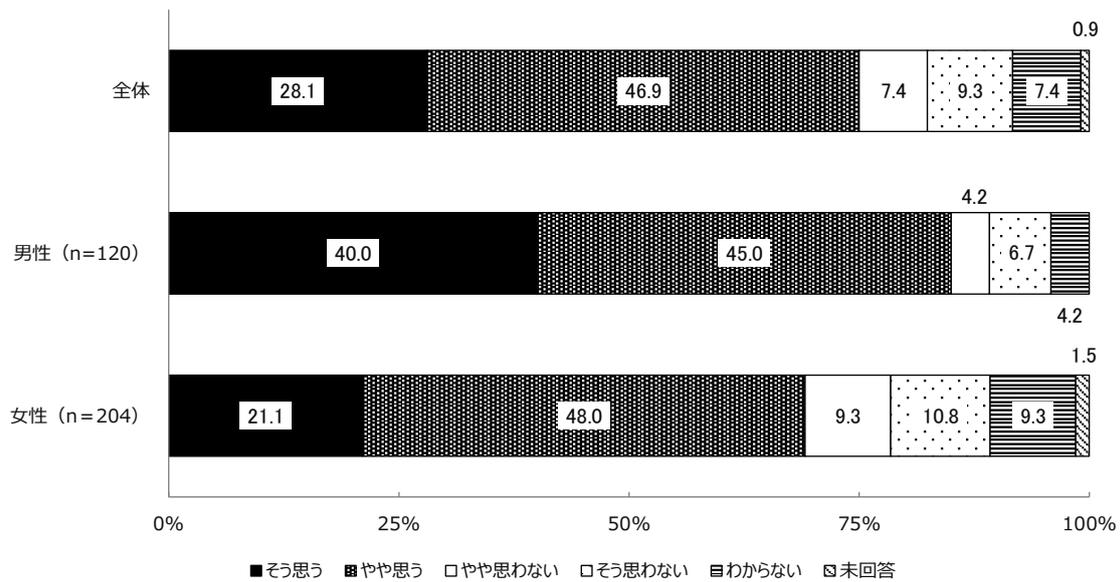
i. 自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である



j. 異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である



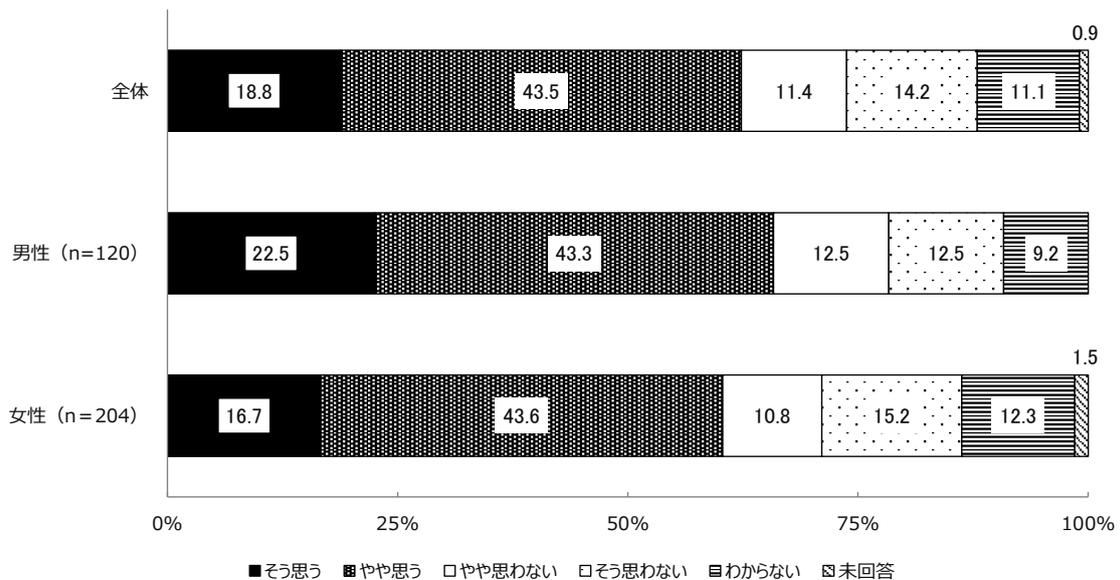
a. 結婚することは自然で幸せである



『結婚することは自然で幸せである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が75.0%、「そう思わない」「やや思わない」が16.7%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（69.1%）の方が男性（85.0%）より、15.9ポイント低くなっている。

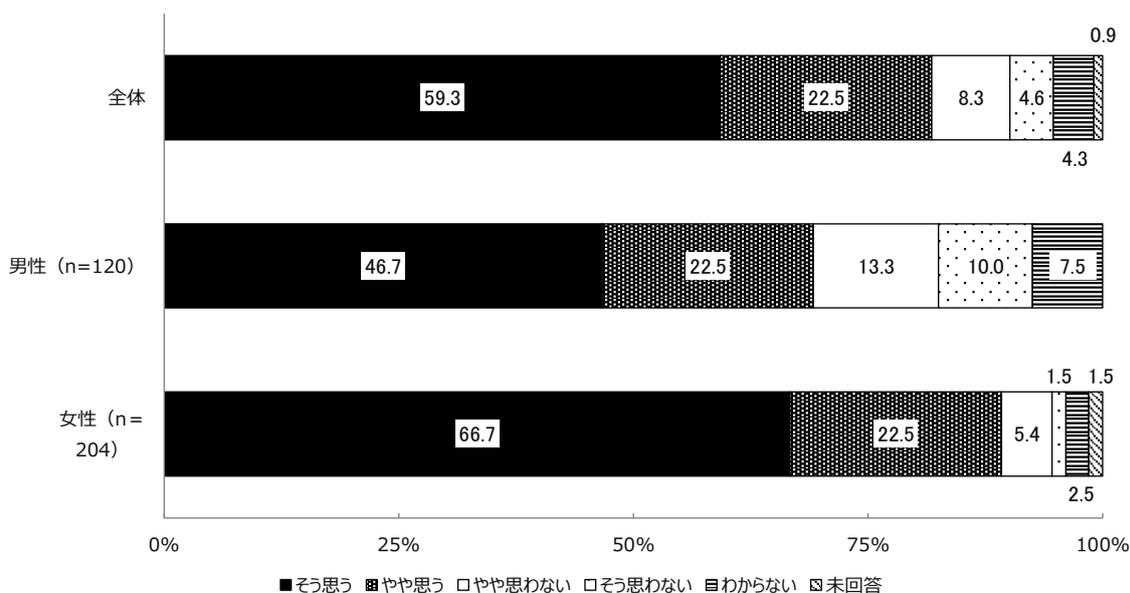
b. 経済的に、結婚したほうが安定した生活ができる



『経済的に、結婚したほうが安定した生活ができる』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が62.3%、「そう思わない」「やや思わない」が25.6%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（60.3%）の方が男性（65.8%）より、5.5ポイント低くなっている。

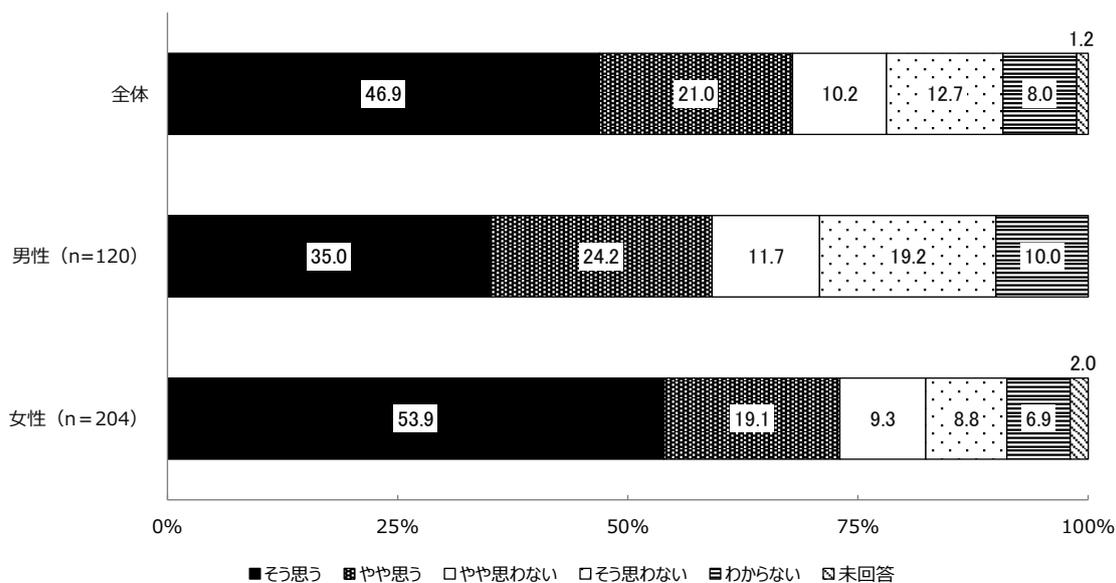
c. 結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい



『結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が81.8%、「そう思わない」「やや思わない」が12.9%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（89.2%）の方が男性（69.2%）より20.0ポイント高くなっている。

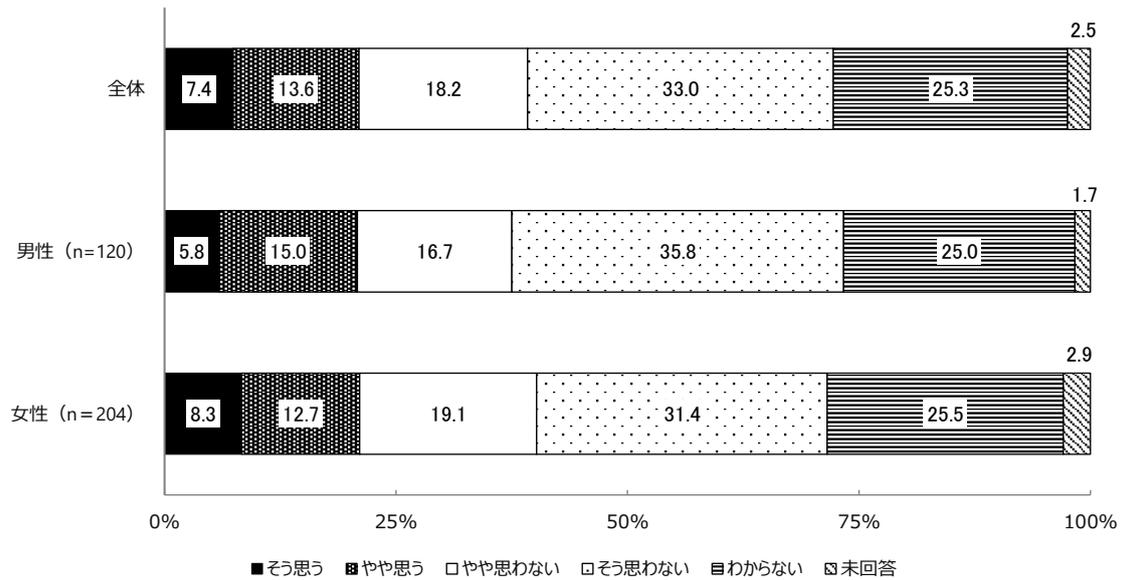
d. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



『結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が67.9%、「そう思わない」「やや思わない」が22.9%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（73.0%）の方が男性（59.2%）より13.8ポイント高くなっている。

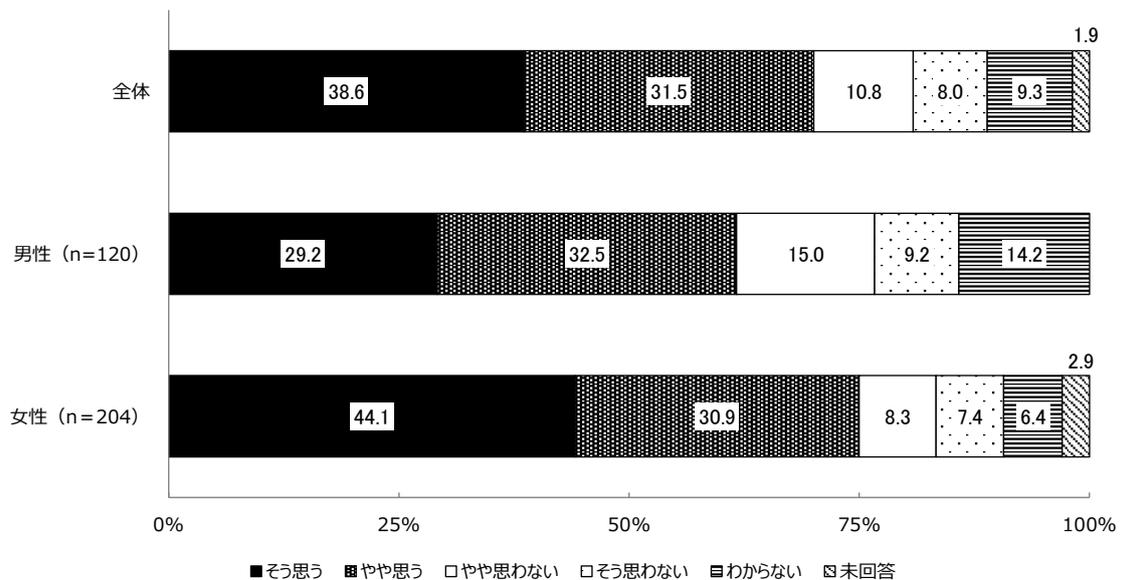
e. 結婚しなくても、子どもは欲しい



『結婚しなくても、子どもは欲しい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が21.0%、「そう思わない」「やや思わない」が51.2%となっている。

性別で見ると、「そう思わない」「やや思わない」は女性（50.5%）の方が男性（52.5%）より、2.0ポイント低くなっている。

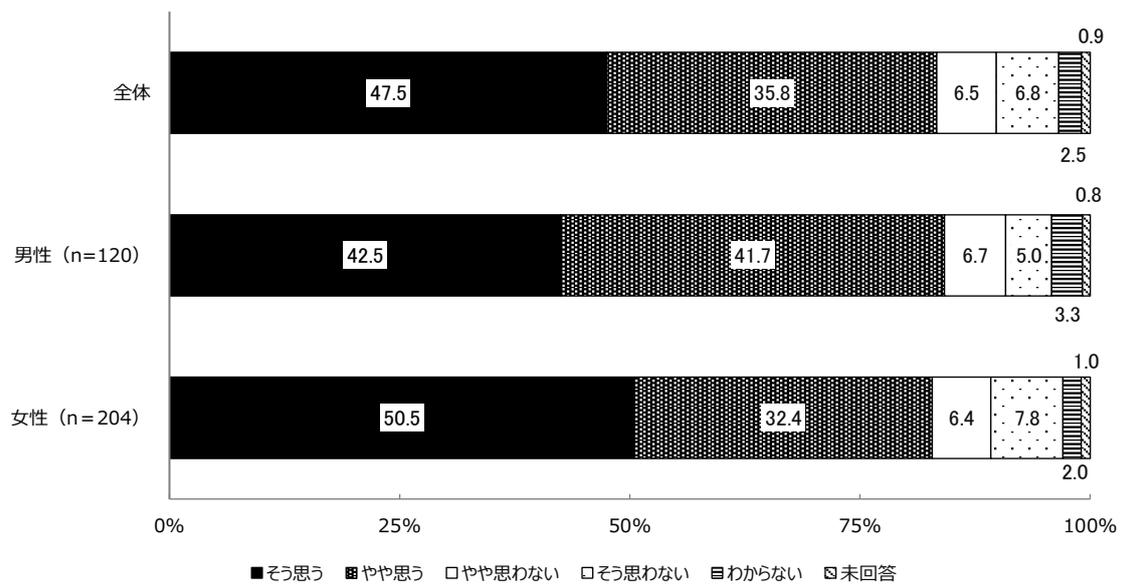
f. 結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい



『結婚していても相手に満足できないときは離婚してもよい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が70.1%、「そう思わない」「やや思わない」が18.8%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（75.0%）の方が男性（61.7%）より、13.3ポイント高くなっている。

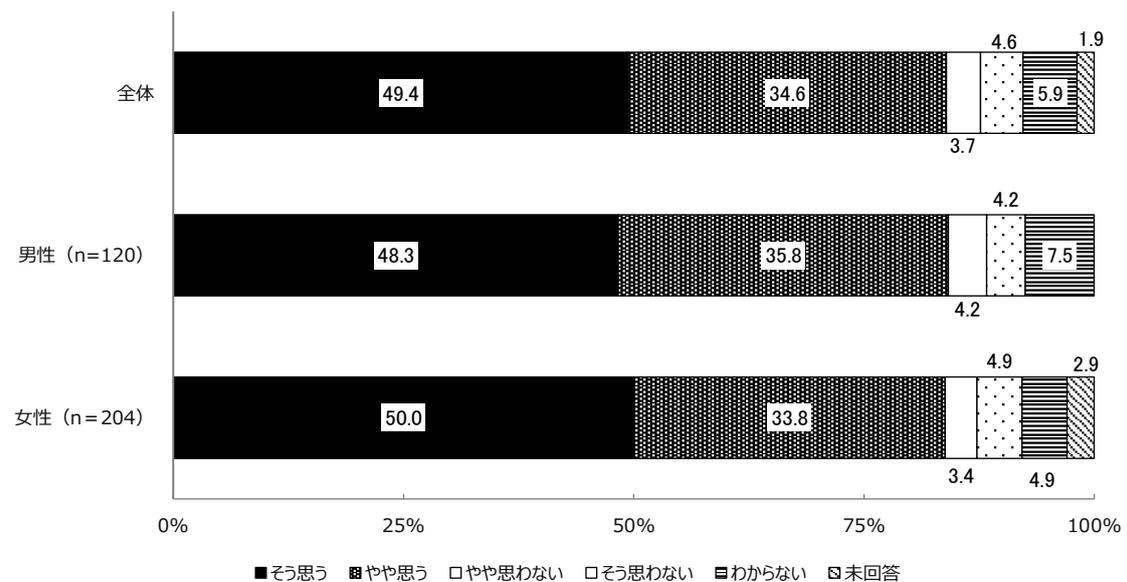
### g. 子どもを育てるのが大変だ



『子どもを育てるのが大変だ』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が83.3%、「そう思わない」「やや思わない」が13.3%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（82.9%）の方が男性（84.2%）より、1.3ポイント低くなっている。

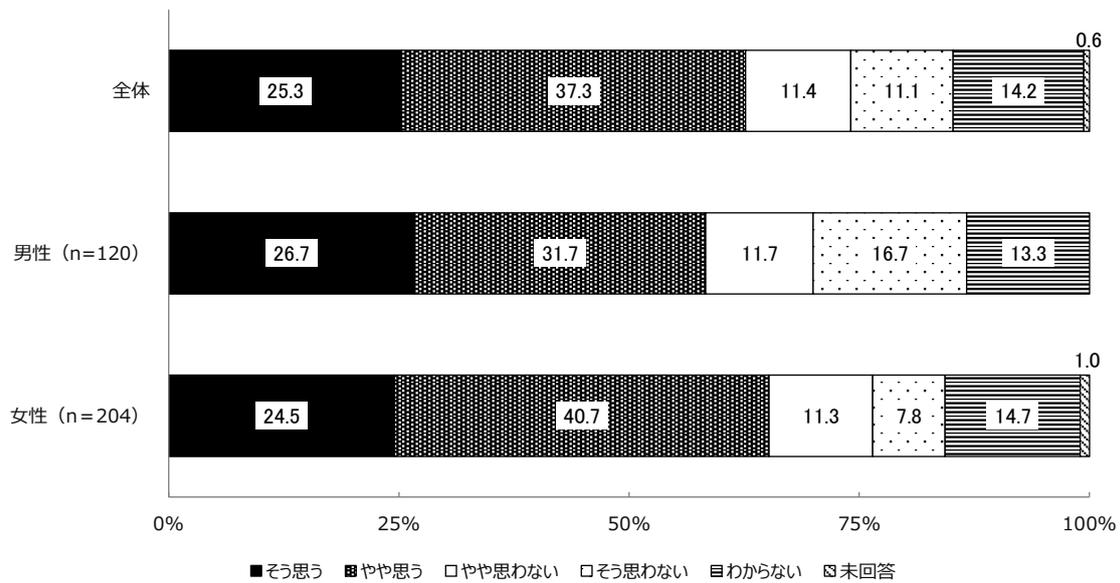
### h. 子どもを育てるのが楽しみだ



『子どもを育てるのが楽しみだ』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が84.0%、「そう思わない」「やや思わない」が8.3%となっている。

性別による回答の格差はほとんどみられない。

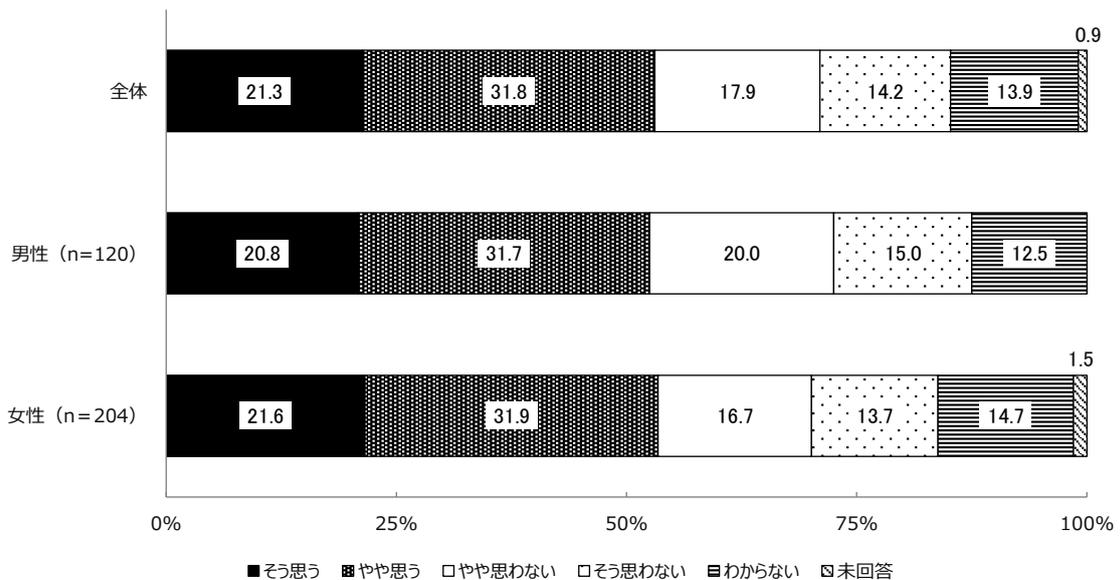
i. 自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である



『自分に合った相手にめぐり会うことが難しい時代である』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が62.6%、「そう思わない」「やや思わない」が22.5%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（65.2%）の方が男性（58.4%）より6.8ポイント高くなっている。

j. 異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である

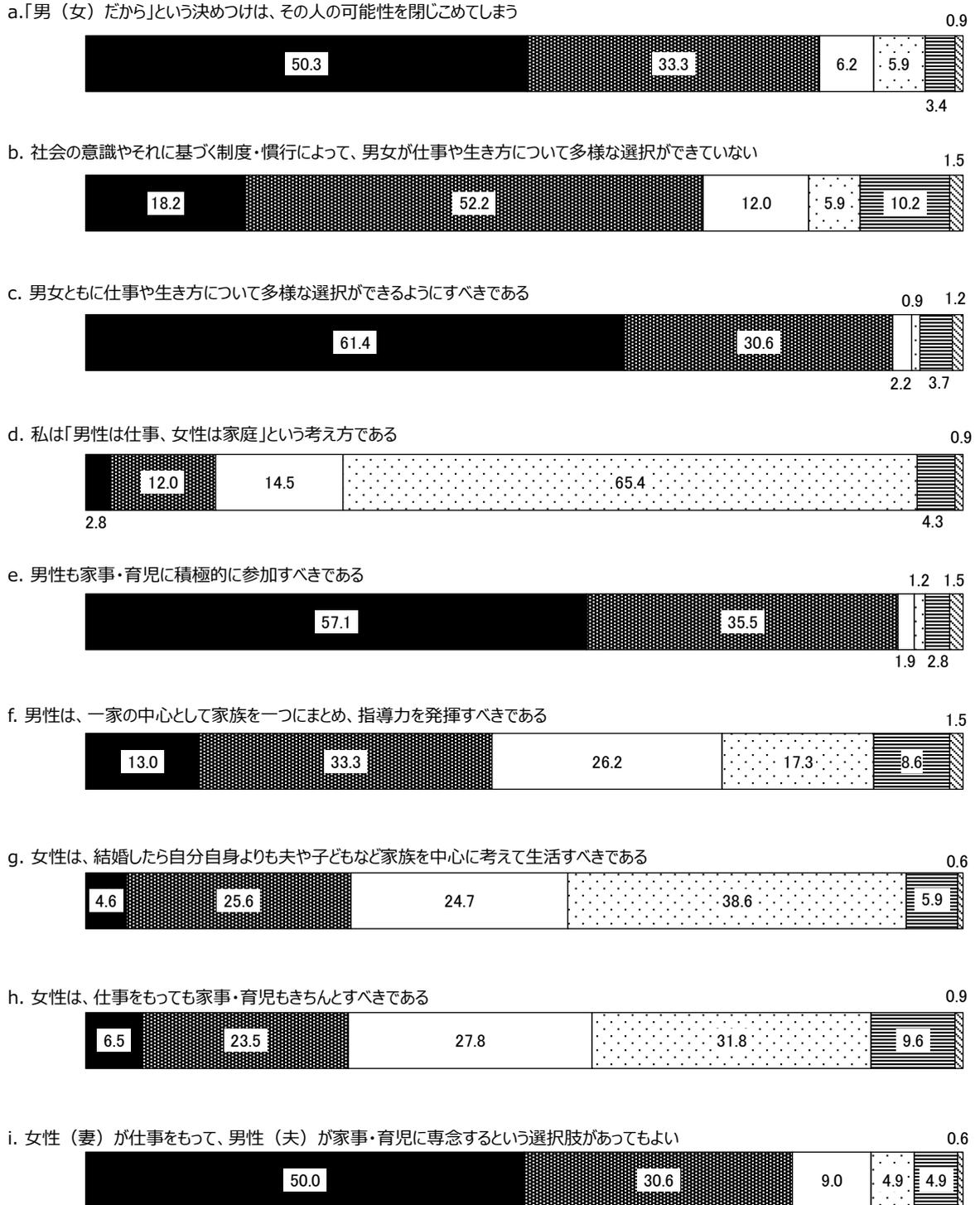


『異性と知り合うゆとりや機会が少ない社会環境である』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が53.1%、「そう思わない」「やや思わない」が32.1%となっている。

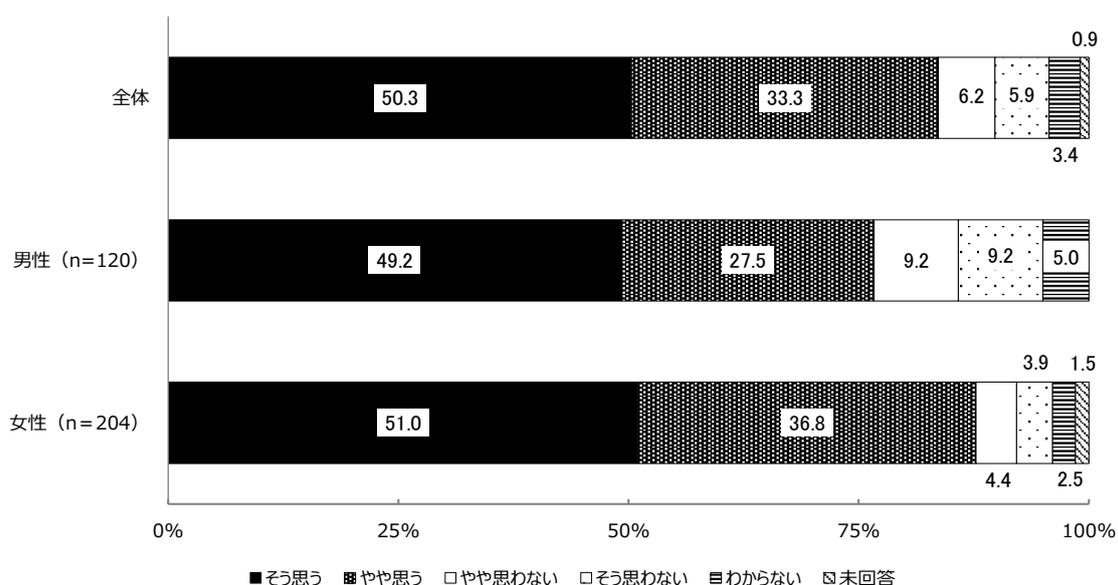
性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は大きな格差はないが、「そう思わない」「やや思わない」は女性（30.4%）の方が男性（35.0%）より4.6ポイント低くなっている。

**【問11】** 男女の生き方や家庭生活などに関する考え方について、あなたの考えをお聞きます。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

■ そう思う   ■ やや思う   □ やや思わない   □ そう思わない   ■ 分からない   ■ 未回答



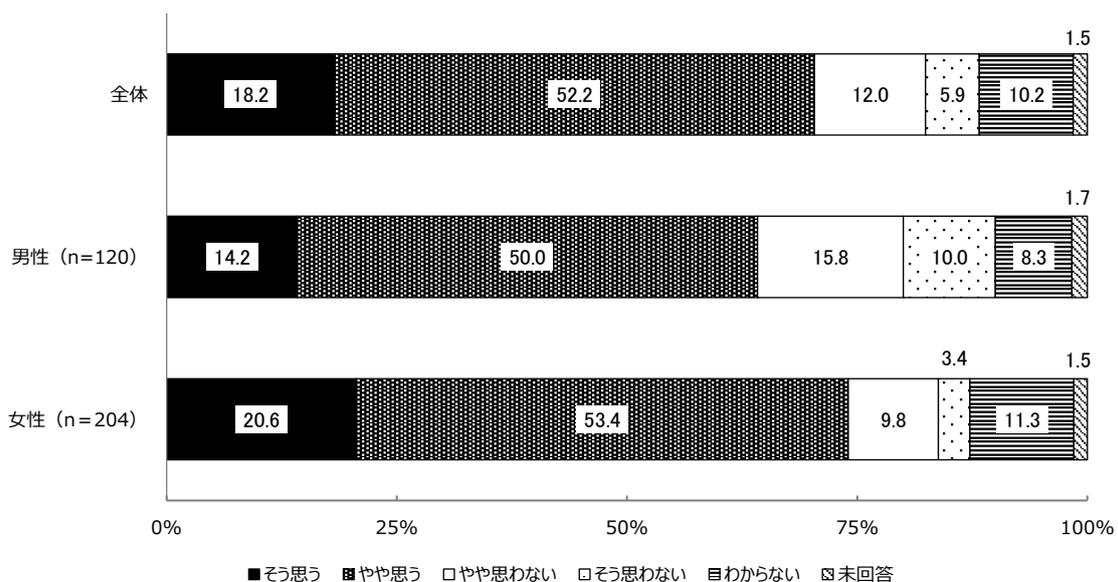
a. 「男（女）だから」という決めつけは、その人の可能性を閉じこめてしまう



『男(女)だから』という決めつけはその人の可能性を閉じ込めてしまう』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が83.6%、「そう思わない」「やや思わない」が12.1%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（87.8%）が男性（76.7%）より、11.1ポイント高くなっている。

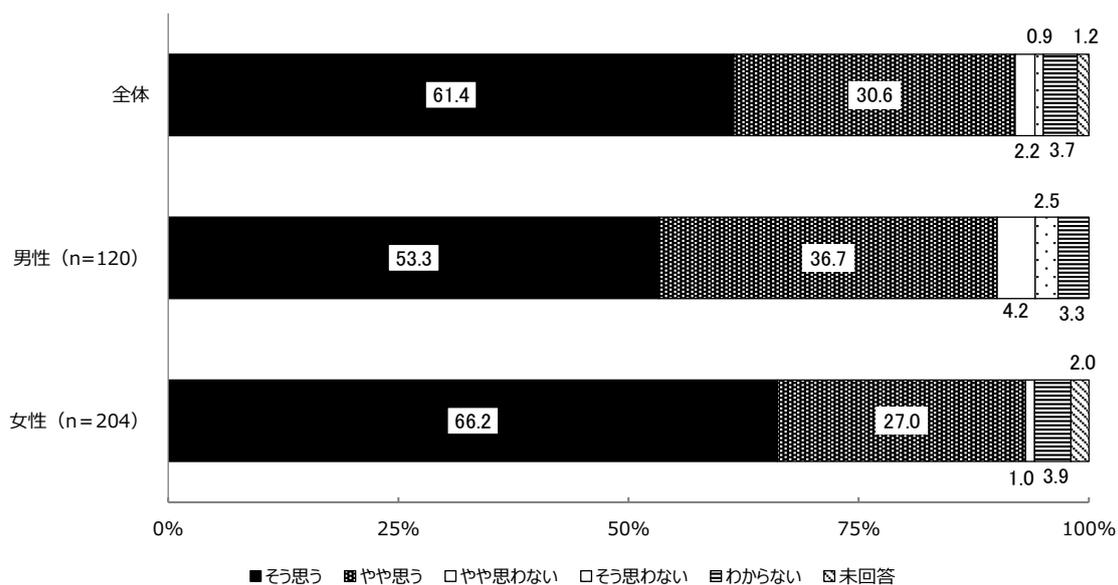
b. 社会の意識やそれに基づく制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない



『社会の意識やそれに基づく制度・慣行によって、男女が仕事や生き方について多様な選択ができていない』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が70.4%、「そう思わない」「やや思わない」が17.9%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（74.0%）が男性（64.2%）より、9.8ポイント高くなっている。

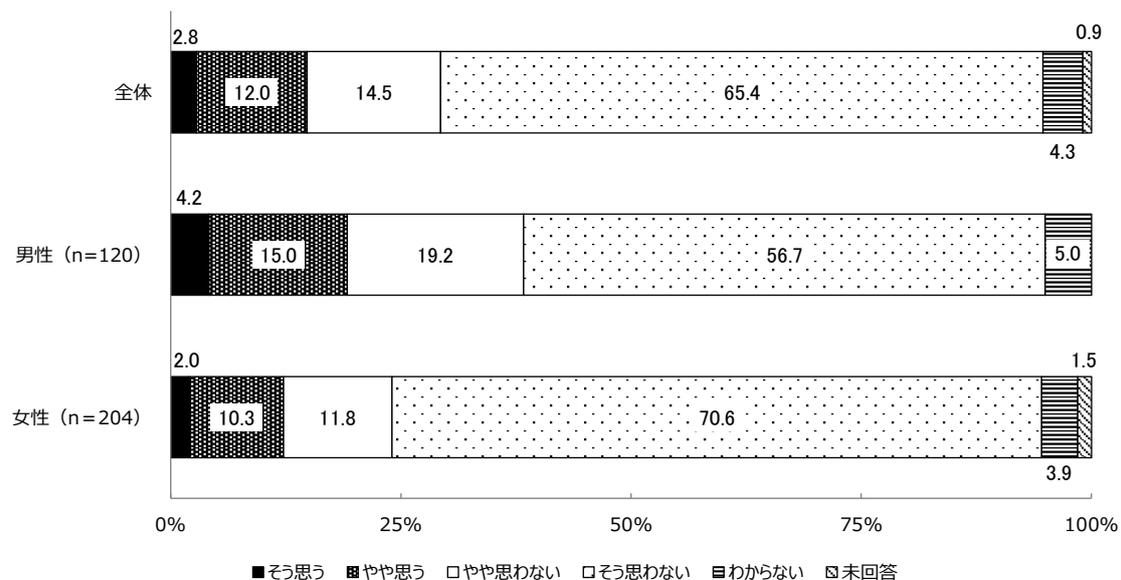
c. 男女ともに仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである



『男女ともに仕事や生き方について多様な選択ができるようにすべきである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が92.0%、「そう思わない」「やや思わない」が3.1%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（93.2%）の方が男性（90.0%）より、3.2ポイント高くなっている。

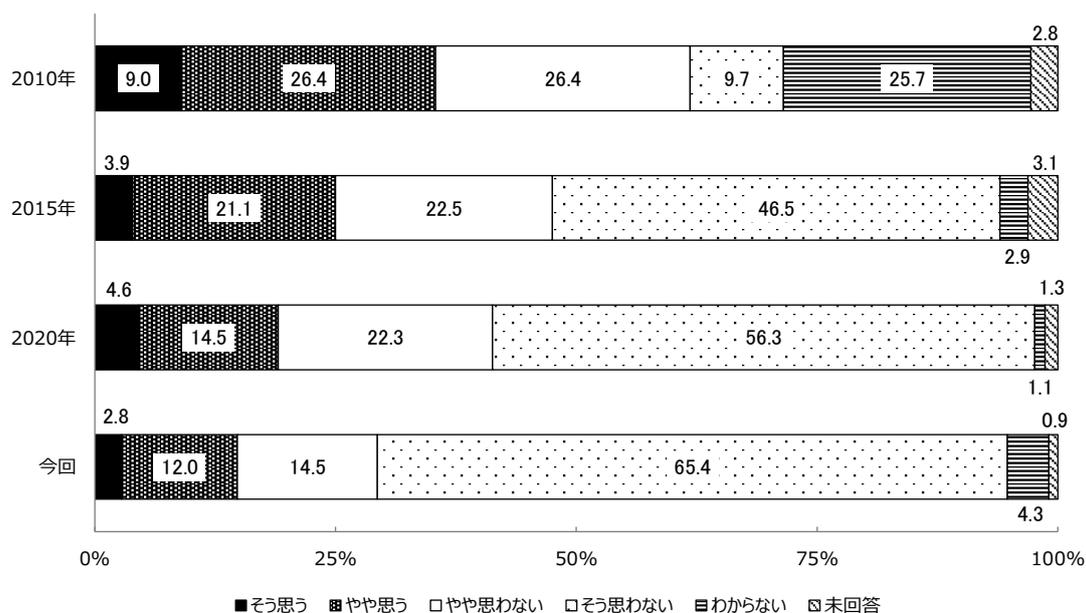
d. 私は「男性は仕事、女性は家庭」という考え方である



『私は「男性は仕事、女性は家庭」という考え方である』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が14.8%、「そう思わない」「やや思わない」が79.9%となっている。

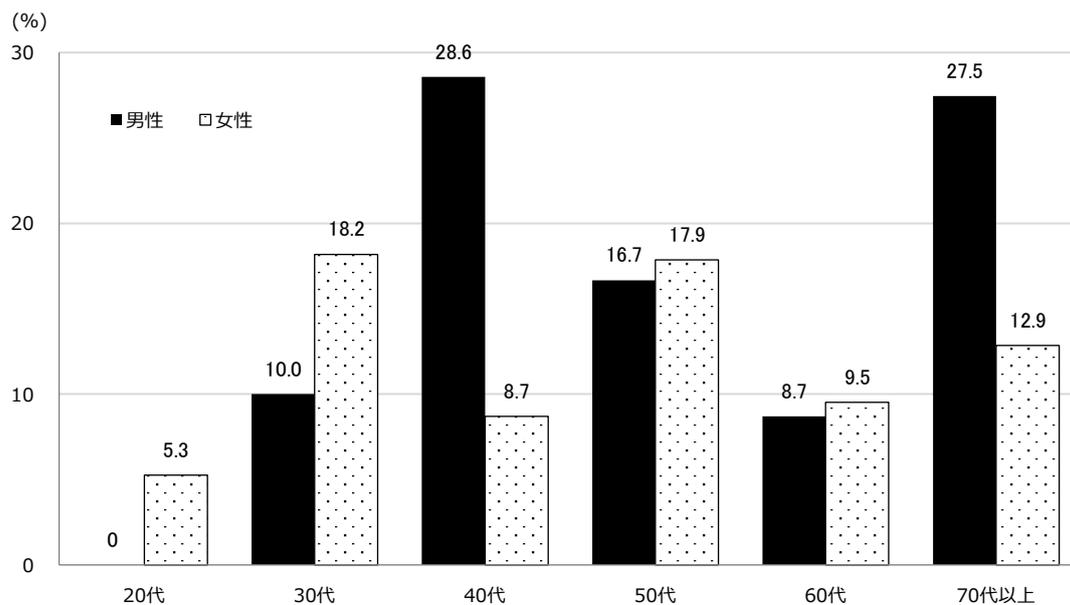
性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（12.3%）の方が男性（19.2%）より、6.9ポイント低くなっている。

▶ 『d.私は「男性は仕事、女性の家庭」という考え方である』に対する過去の調査との比較



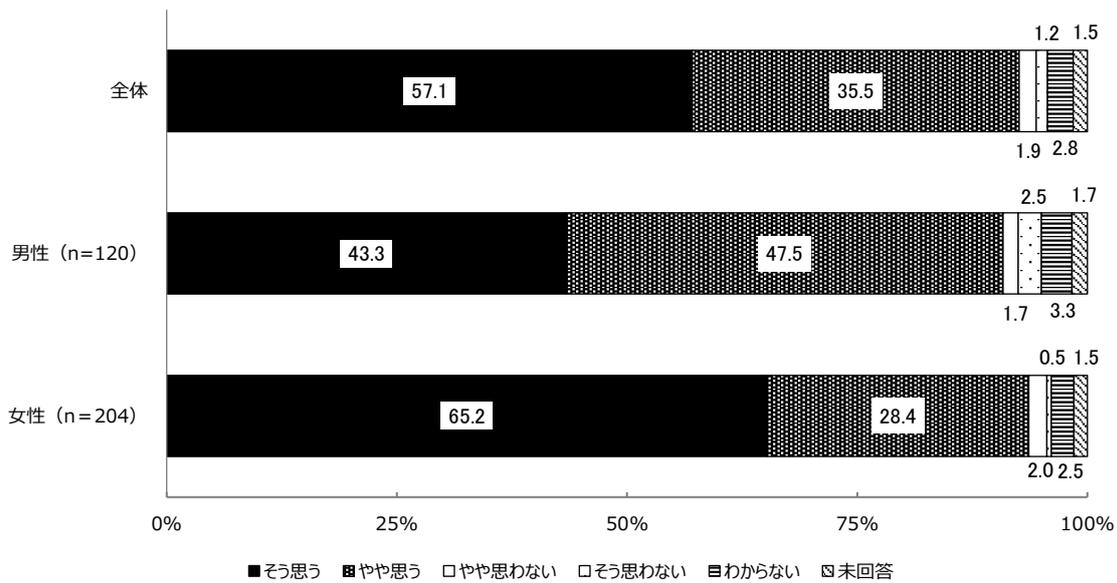
過去に実施した調査結果と比較したところ、「そう思う」「やや思う」と回答した割合は経年により減少している。

▶ 『d.私は「男性は仕事、女性の家庭」という考え方である』に対して「そう思う」「やや思う」と回答した男女の年代別割合



「そう思う」「やや思う」と回答した割合を年代別・男女別で見ると、40代男性（28.6%）が最も高くなっていた。次いで70代以上男性（27.5%）、30代以上女性（18.2%）の順になっている。

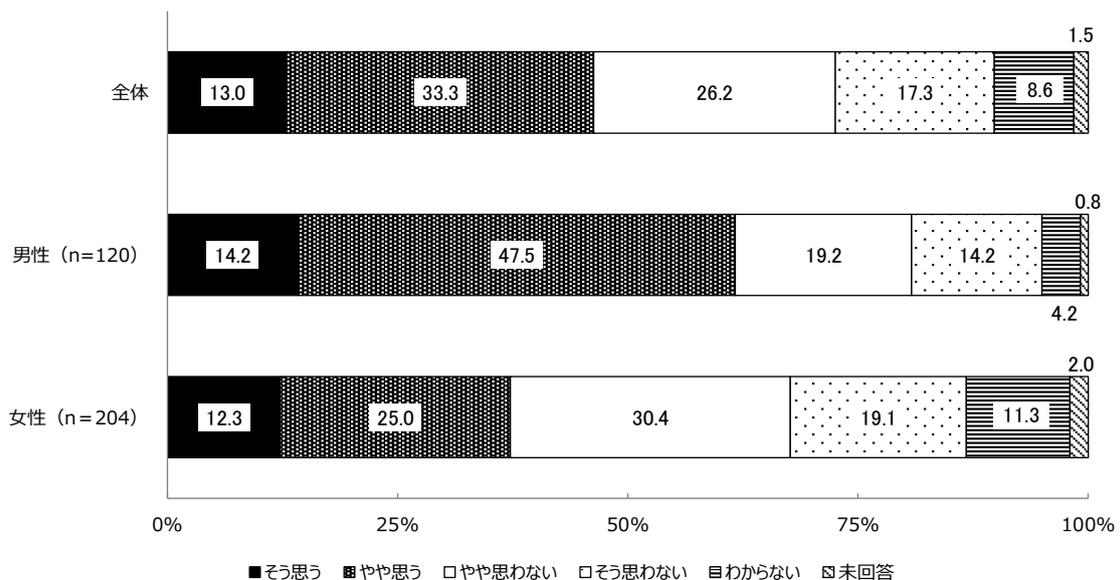
e. 男性も家事・育児に積極的に参加すべきである



『男性も家事・育児に積極的に参加すべきである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が92.6%、「そう思わない」「やや思わない」が3.1%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（93.6%）が男性（90.8%）より、2.8ポイント高くなっている。

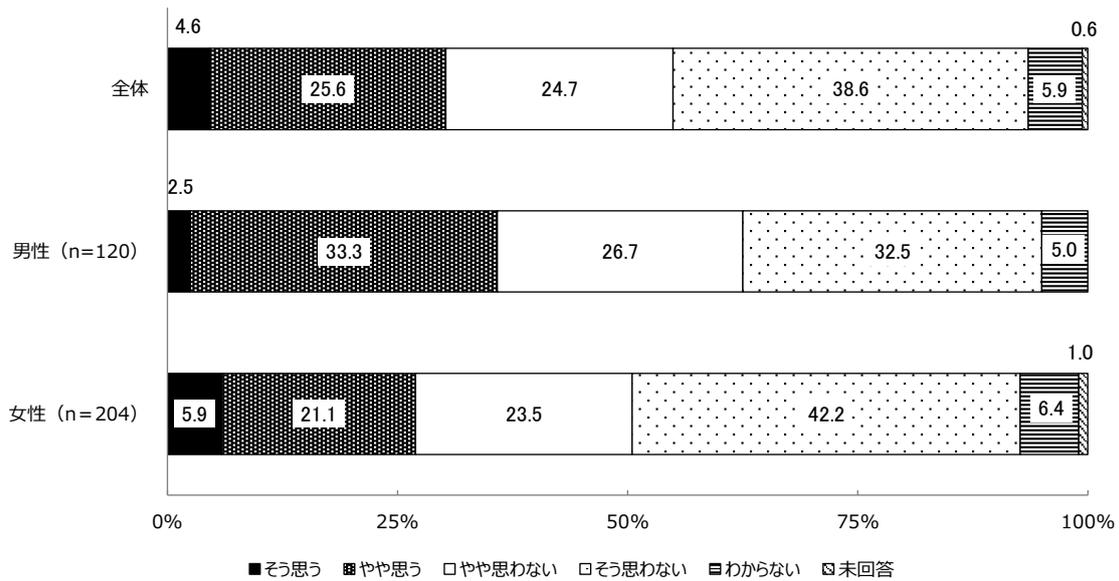
f. 男性は、一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである



『男性は一家の中心として家族を一つにまとめ、指導力を発揮すべきである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が46.3%、「そう思わない」「やや思わない」が43.5%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（37.3%）が男性（61.7%）より、24.4ポイント低くなっている。

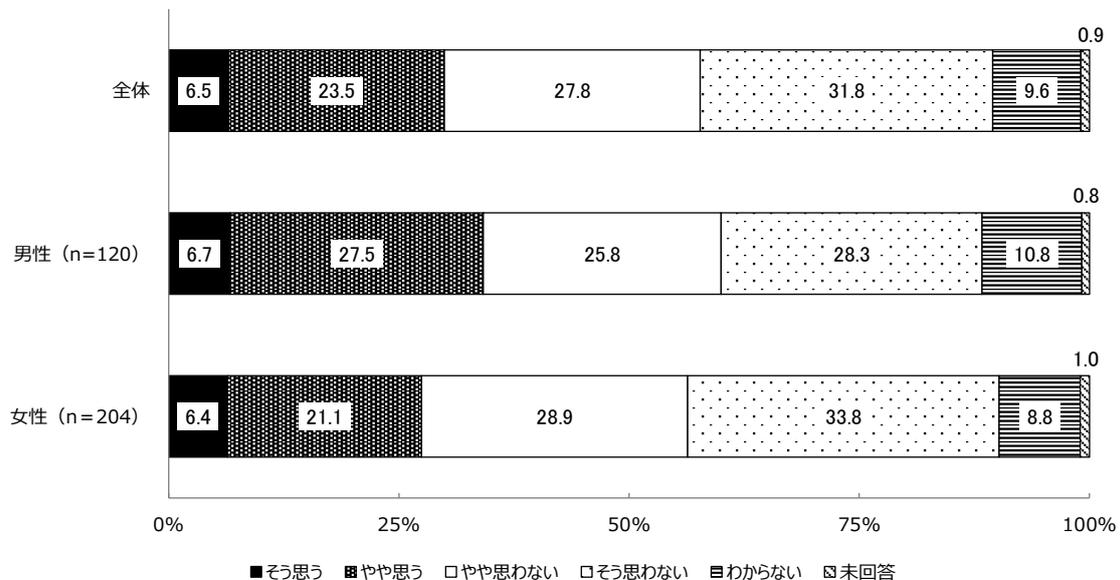
**g. 女性は、結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活すべきである**



『女性は、結婚したら自分自身よりも夫や子どもなど家族を中心に考えて生活すべきである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が30.2%、「そう思わない」「やや思わない」が63.3%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（27.0%）が男性（35.8%）より8.8ポイント低くなっている。

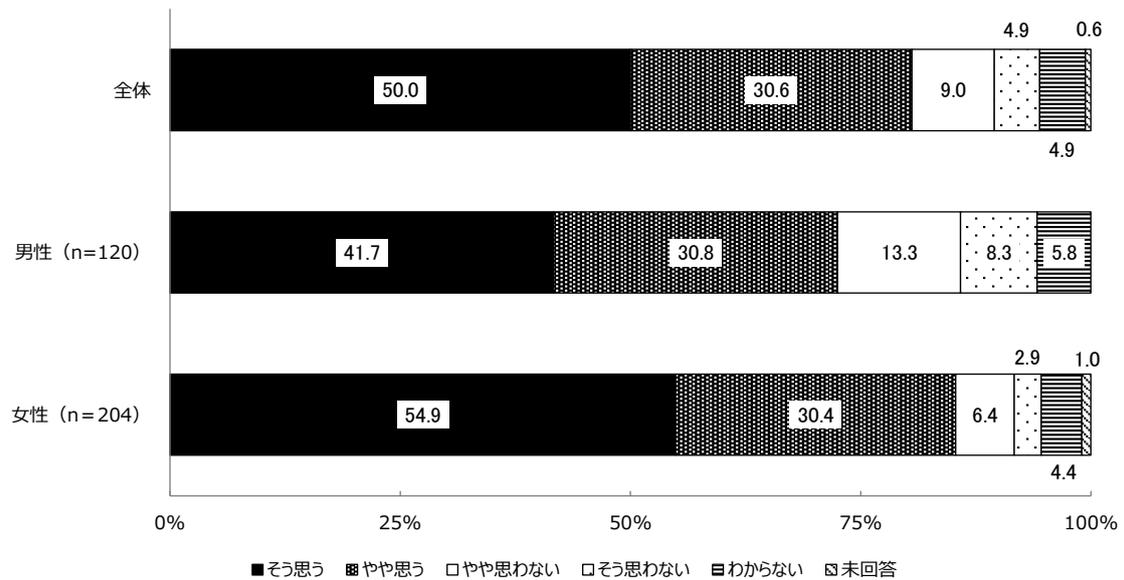
**h. 女性は、仕事をもって家事・育児もきちんとすべきである**



『女性は、仕事をもって家事・育児もきちんとすべきである』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が30.0%、「そう思わない」「やや思わない」が59.6%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（27.5%）の方が男性（34.2%）より、6.7ポイント低くなっている。

i. 女性（妻）が仕事をもって、男性（夫）が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい



『女性（妻）が仕事をもって、男性（夫）が家事・育児に専念するという選択肢があってもよい』と思うか聞いたところ、「そう思う」「やや思う」が80.6%、「そう思わない」「やや思わない」が13.9%となっている。

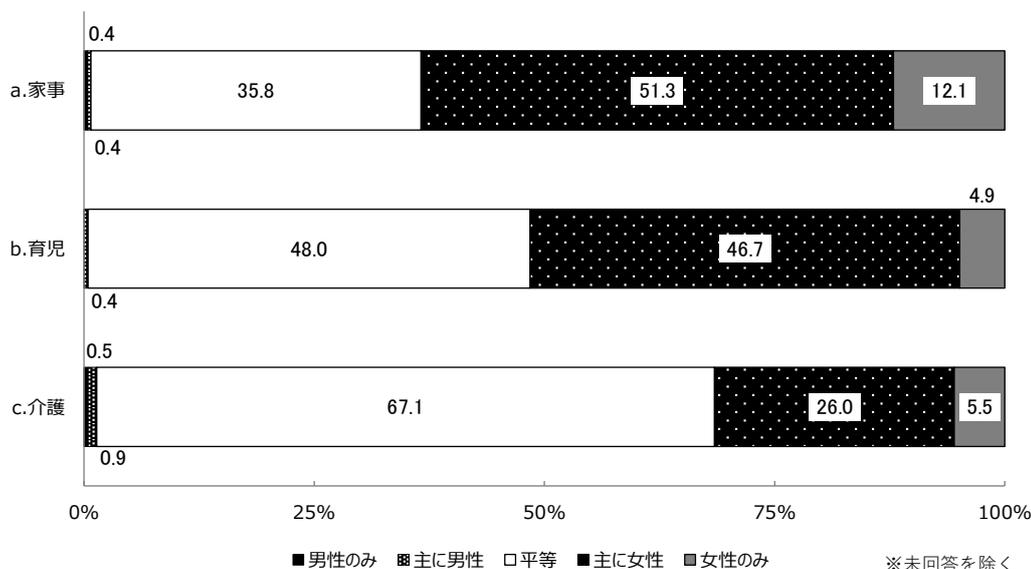
性別で見ると、「そう思う」「やや思う」は女性（85.3%）が男性（72.5%）より、12.8ポイント高くなっている。

**固定的性別役割分担**

男女問わず個人の能力等によって役割を決めることが適当であるにも関わらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。

「男は仕事・女は家庭」「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。

**【問12】** あなたのご家庭では現在、男性・女性の役割分担はどうしていますか。〔a. 家事〕、〔b. 育児〕、〔c. 介護〕について、当てはまる番号をそれぞれ1つだけ枠の中に記入してください。  
 ※ 女性だけ、又は男性だけの家庭の方は記入不要です。

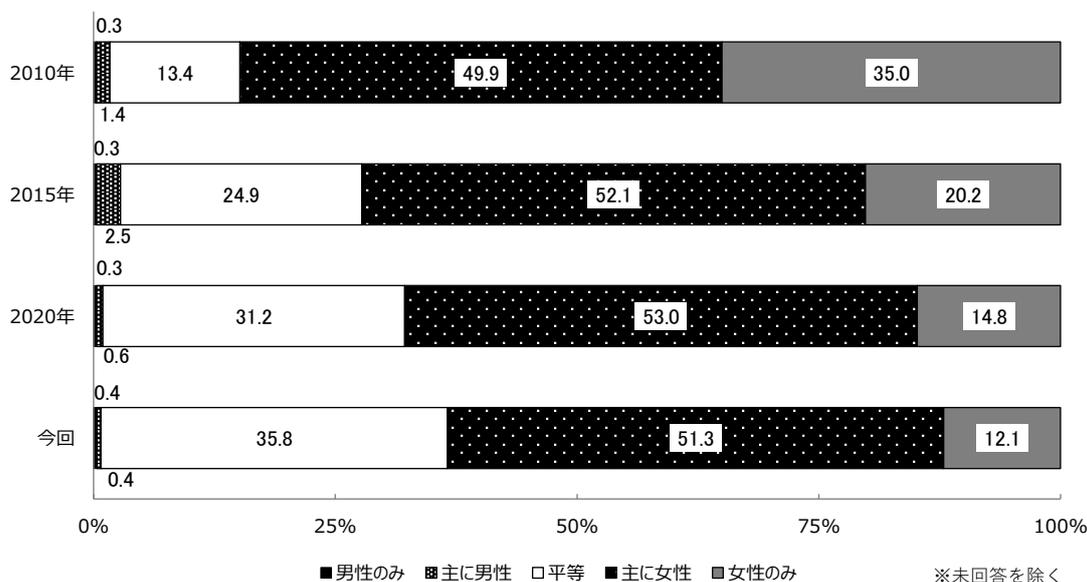


『家事』については、「平等」が35.8%、「主に女性」「女性のみ」が63.4%、「主に男性」「男性のみ」が0.8%となっている。

『育児』については、「平等」が48.0%、「主に女性」「女性のみ」が51.6%、「主に男性」「男性のみ」が0.4%となっている。

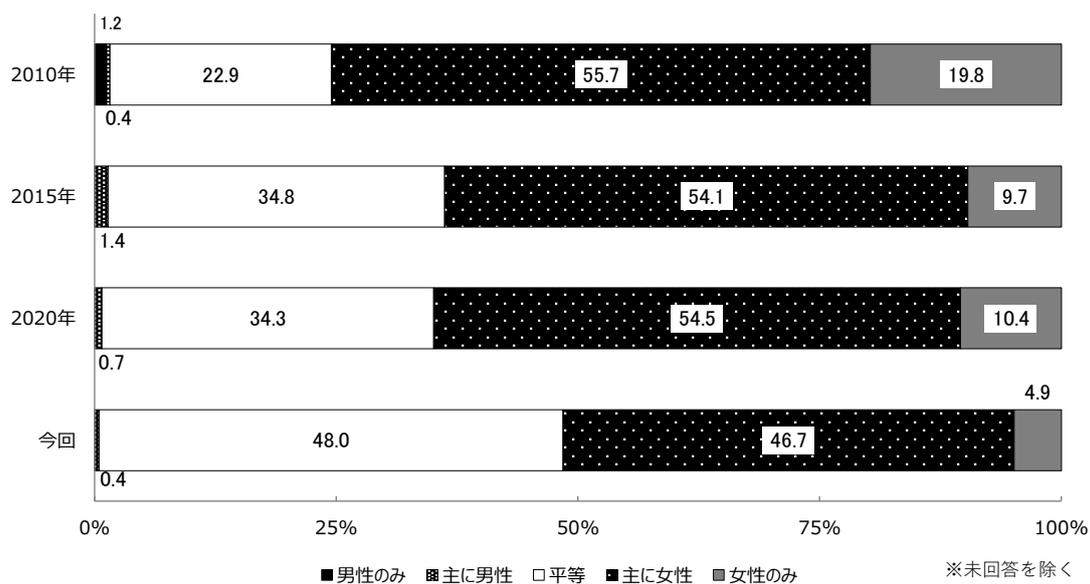
『介護』については、「平等」が67.1%、「主に女性」「女性のみ」が31.5%、「主に男性」「男性のみ」が1.4%となっている。

### a. 家事



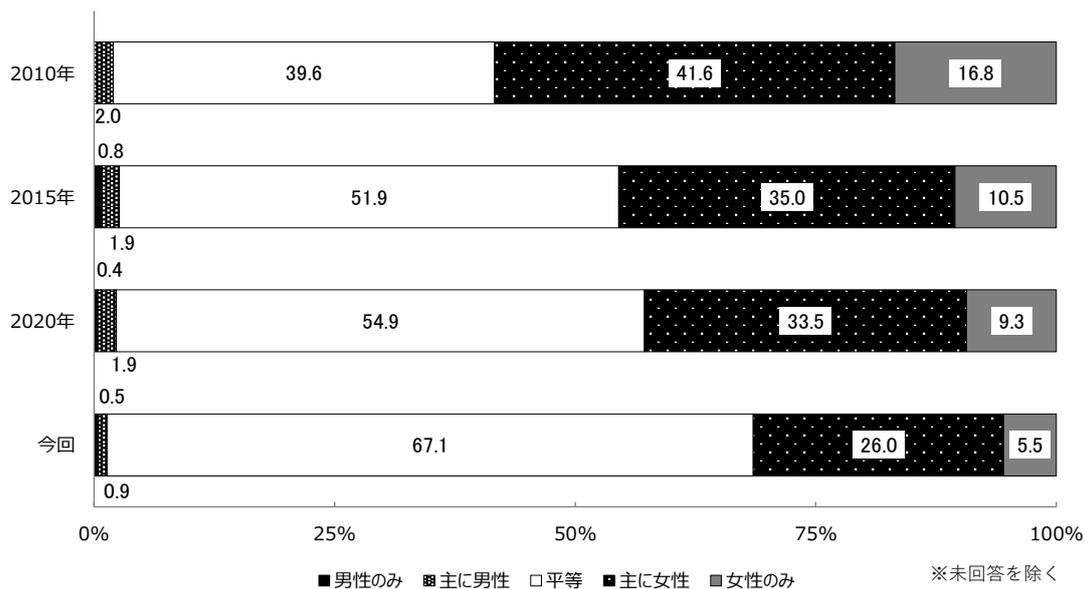
『家事』について、「平等」の占める割合は経年増加している。

## b. 育児



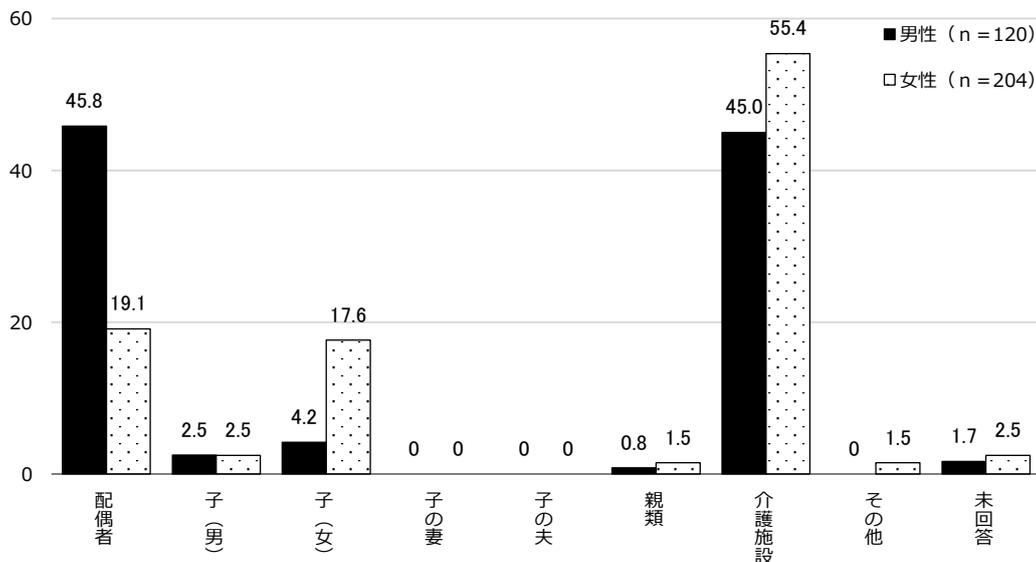
『育児』について、「平等」の占める割合は前回減少していたが今回再び増加し、2010年と比較すると約2.1倍となっている。

## c. 介護



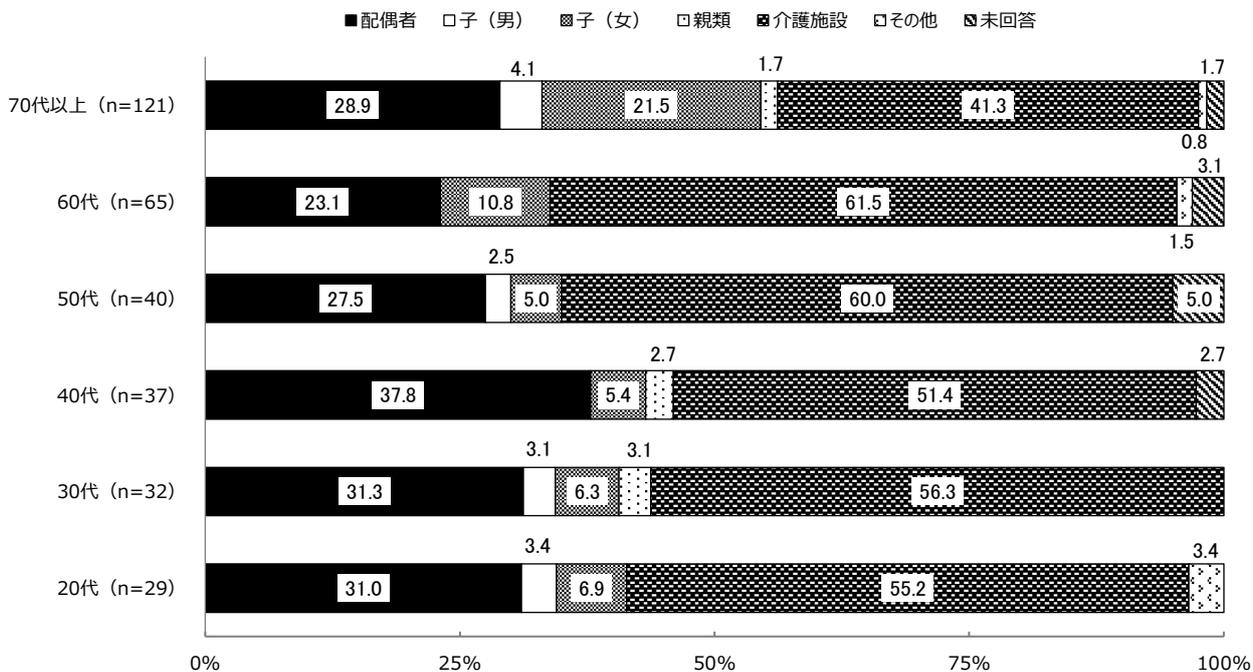
『介護』について、「平等」の占める割合は経年増加しており、2015年以降半数を超えている。

**【問13】** あなたがもし高齢などの理由で、自分で身の回りのことができなくなったときは、だれに介護してもらいたいですか。当てはまる番号を1つだけ枠の中に記入してください。



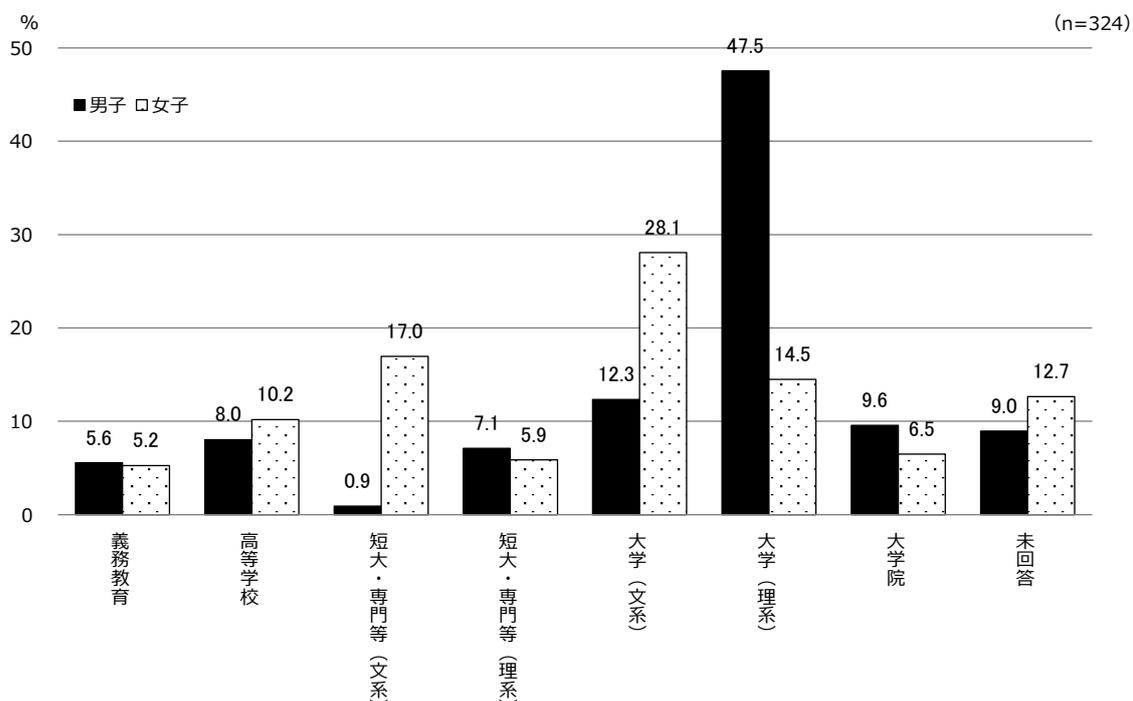
だれに介護をしてもらいたいかについて、男性は「配偶者」が45.8%と最も多く、次いで「介護施設」の45.0%となっている。女性は「介護施設」の55.4%が最も多く、次いで「配偶者」が19.1%、「子(女)」が17.6%となっている。

▶年代別でみる介護をしてもらいたい相手について



年代別に見てみると、全ての年代で「介護施設」とする割合が最も高く、次に配偶者の割合が高くなっている。

**【問14】** あなたのお子さんには、もしくはあなたにお子さんがいたとすれば、どのような学校教育を受けさせたいですか。当てはまる番号をそれぞれ1つだけ枠の中に記入してください。



子どもに受けさせたい学校教育について、男子は大学（理系）が47.5%、女子は大学（文系）が28.1%が最も高くなっている。

また、「未回答」とした回答の中には“子どもの希望を尊重したい”とする意見が含まれていた。